

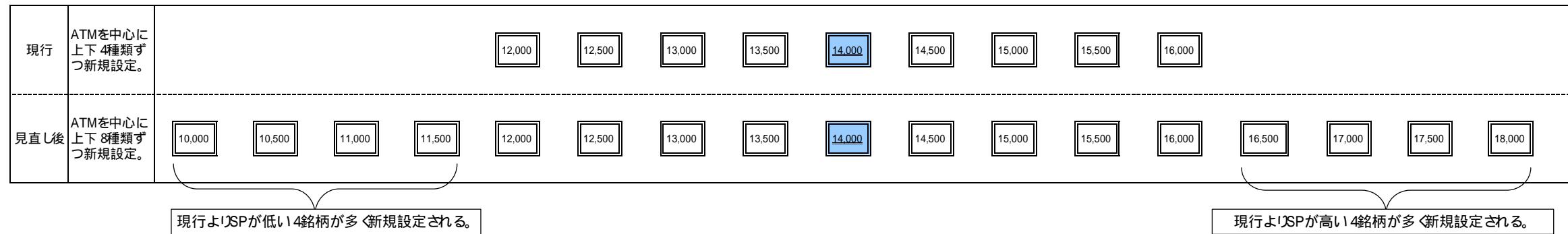
権利行使価格の設定方法の見直し(具体例:平成20年7月限。数値は全て仮定値)

権利行使価格(以下「SP」という。)の新規設定時より、上下4,000円幅の設定になることで、これまでよりも幅広い相場変動のヘッジが可能となる。

平成20年2月8日(平成20年7月限の取引開始日) 前営業日の日経平均株価終値:13,838.17円

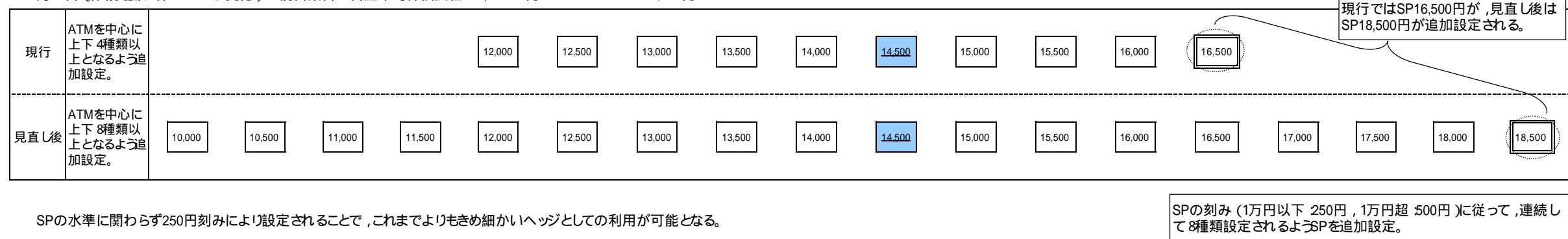
ATM = 14,000円

ATMとは、日経平均株価に最も近接する権利行使価格をいう。



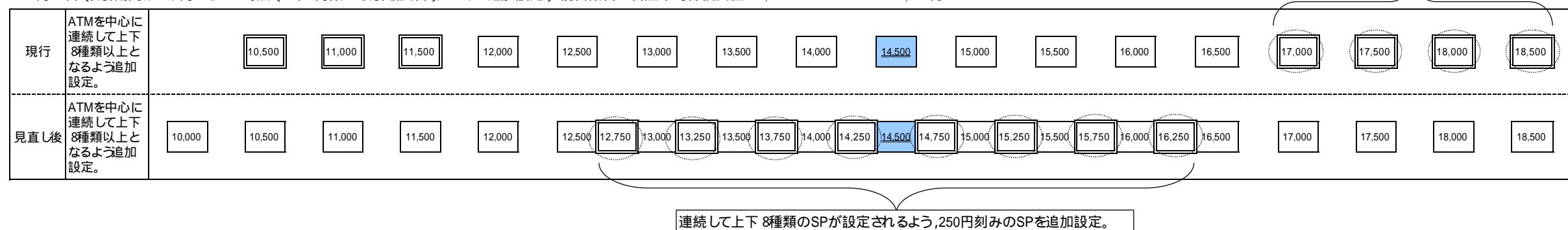
2月12日(相場変動に伴いATMが変化) 前営業日の日経平均株価終値:14,300.23円

ATM = 14,500円



4月10日(取引期間が3か月となった時点(20年4月限の取引最終日)における追加設定) 前営業日の日経平均株価終値:14,505.78

ATM = 14,500円



4月11日(相場変動に伴いATMが変化) 前営業日の日経平均株価終値:14,715.51円

ATM = 14,750円(ただし、現行においてはATM = 14,500円)

